

患者急増 若年層に多数

今回の「病院の実力」は、消化管に原因不明の炎症が生じる「炎症性腸疾患」をテーマに取り上げた。

病院の実力

和歌山編 69

の働きを抑える生物学的製剤が登場し、重症者にも効果を発揮している。

潰瘍性大腸炎は、大腸に炎症や潰瘍が生じ、下痢や腹痛、下血などの症状が出る。炎症や潰瘍は大腸に連続的に広がる。

一覧表には、昨年一年間の新規患者数、症状が悪化した時に血液を体外に出して、異常に活性化した白血球を取り除く血球成分除去療法を受けた患者数、大量

以前はまれな病気だったが、近年、患者数は急増しており、主な炎症性腸疾患である潰瘍性大腸炎とクローン病を合わせると18万人に達する。若くして発病することが多く、根治療法がないため、生活に及ぼす影響は非常に大きい。治療は薬物療法が中心で、近年は、免疫にかかわる特定の物質

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

炎症性腸疾患

病院の実力「炎症性腸疾患」

医療機関別2012年治療実績(読売新聞調べ)

医療機関名	潰瘍性大腸炎		クローン病	
	新規患者(人)	治療を受けた患者(人)	新規患者(人)	治療を受けた患者(人)
大阪回生	80	5	2	20
大阪市大	78	13	0	45
近畿大	64	10	4	21
岸和田徳洲会	44	3	1	10
大阪警察	44	3	0	2
北野	43	0	6	16
国・大阪南	36	8	1	8
大阪大	34	2	9	29
大阪医大	32	11	7	13
阪和住吉総合	31	5	7	27
関西医大香里	31	6	1	12
市立豊中	30	7	1	5
済生会千里	29	4	0	14
大阪赤十字	28	12	2	7
済生会吹田	28	5	1	4
りんくう総合	27	0	0	12
済生会中津	27	28	1	7
府立急性期・総合	20	5	2	5
天理よろづ相談所	24	6	0	6
奈良県	22	5	11	9
近畿大奈良	14	2	0	7
県立五條	5	1	0	1
大和高田市立	1	1	0	1
和歌山県	36	5	2	19
日本赤十字社和歌山	22	8	0	5
福外科	10	2	0	5
国・南和歌山	2	0	0	0
済生会和歌山	1	0	0	1

「国・」は国立病院機構。日本消化器病学会の認定施設を対象に調査

医療法人福慈会 福外科病院

福昭人理事長に聞く



今後の課題などについて語る福昭人理事長(和歌山市の福外科病院で)

下痢や血便続けば受診を

日本大腸肛門病学会、日本消化器病学会の専門医、指導医で、医療法人福慈会「福外科病院」の福昭人理事長(51)に、炎症性腸疾患の治療法や今後の課題などについて聞いた。(落合宏美)

出血や大腸が破れるなどした場合に大腸自体を切除する外科手術を受けた患者数を載せた。クローン病は、大腸や小腸など消化管のどこにでも不連続に炎症や潰瘍が生じる可能性がある。腹痛や下痢、下血、体重減少などを伴う。一覧表には昨年一年間の新規患者数と、大量出血した消化管の患部を切除したり、腸が狭くなった部分を広げたりする外科手術を受けた患者数を掲載した。

大腸の粘膜に炎症や潰瘍ができる潰瘍性大腸炎の発症年齢は、男女とも中学生から30歳頃までに多いですが、高齢者でも認められます。遺伝的要因や食生活の変化などにより、腸の免疫機能が過剰に働くことが原因と考えられています。いままで解明されておらず、難病に指定されています。軽症の人でも1日に4回までの下痢や腹痛、粘血便、微熱などの症状が出ます。重症化すると、下痢は1日6回以上となり、血便が止まらないこともあります。そのため貧血や頻脈の症状が表れ、まれに関節の痛みや眼病などを合併することもあります。

重症の場合は、免疫機能を抑える副腎皮質ステロイド薬を用います。効果が得られない場合は、血液中から白血球を取り除いたり、免疫調節薬を投与したりします。出血量が多かったり、副作用で薬を使えなかったりする患者さんには、大腸を摘出して小腸で便をためる袋を作り、肛門につなぐ手術をすることもあります。血便で異常に気づき、来院する人が多いのですが、数日で重症化する場合もあります。下痢がいつもより長く、しかも1日に5、6回以上続く時は、大腸肛門病専門医の受診をお勧めします。

内服治療でほとんどの人は症状が軽くなりますが、基本的には完治しません。季節や生活環境の変化によるストレスで再び症状が悪化する人も多いため、薬なしで過ごせている人も数か月間に1度は病院に足を運んで下さい。潰瘍性大腸炎は大腸の炎症に限られますが、クローン病は、口から肛門まで消化管のどの部分にも起こりえます。原因は不明で難病です。

それぞれの症状が出てくる間は、トイレの確保などが大変で、日常生活が制限されますが、若い人の中には周囲に話しにくいと感じ、不自由な生活をしている人が少なくありません。当院では診断から内科的治療、手術まで同じ医師が担当できることが強みです。長く付き合わなければならぬ疾患なので、患者さんと一緒に根気よく治療を続けていくことが大切です。それだけに、治療方針を丁寧に説明するよう心がけています。

炎症性腸疾患は、患者さんも医療従事者にもまだ十分に知られておらず、病院の選び方も難しいのが現状です。気になる症状がある場合は、専門医を探すようにしてください。

近郊だより
◇ウォーク◇
「旧能勢街道敷設ウォーク」10日午前10時、大阪府豊中市阪急豊中駅集合。旧能勢街道「桜塚古墳群・東光院・豊島公園」中央幹線風景水路「服部天満宮」阪急服部駅。12時。500円。大阪府歩け歩け協会(06-63359-7025)

よみうりレディースゴルフ参加者募集
11月25日(土) 18歳以上 35歳以下
【参加費】3500円
【申し込み】10月25日(日)まで
【申し込み先】よみうりゴルフ(0797-61-1111)

「中村孝平展 Not Being」まで。大阪府茨木市文学館(阪急茨木駅より徒歩10分)にて開催。美術作家・中村孝平の代表作を約50点展示。11月22日(土)～29日(日)まで。10時～18時。観覧料無料。予約不要。

「英哲風雲のサート」19日(土) 18時～21時。和歌山県立文化センター(和歌山駅前)で開催。和歌山県立文化センター(和歌山駅前)で開催。和歌山県立文化センター(和歌山駅前)で開催。